

〈特別寄稿〉

個性を認めあえる社会

一般財団法人静岡県教育会館 理事長 小塚 英幸

昭和 57 年に沼津市の中学校に採用された後、38 年間教職員として勤務しましたが、令和2年3月、最後の1か月は突然の臨時休校で終わりました。

沼津市、三島市の学校、県や市の行政機関で勤務した際、事務職員の皆様には、公私ともに大変お世話になりました。コスモスプランでスクールマネージャーとしての視点を示していらっしゃる通り、学校経営への参画意識が高く、事務職のプロとしての誇りを持ち、的確に判断してくださるので、本当に頼もしい存在でした。この場をお借りいたしまして、お世話になりました皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍で社会全体が大きな影響を受けています。「ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」「三密」を意識し、マスクを常に身につけた新しい生活様式には、ストレスを感じる時もあります。「当たり前」という基準がこんなにも大きく変わってしまうとは、誰もが想像していなかったことと思います。

「鳴かぬなら ○○○○○○○ ホトトギス」
織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の性格を、表した有名な歌ですが、パナソニックの創始者である松下幸之助氏は、

「鳴かぬなら それもまたよし ホトトギス」
と歌いました。



ホトトギスは、鳴くことが当たり前と思う三人の武将に対して、鳴かないホトトギスにも価値を認めようとする松下幸之助氏の素晴らしい感性に感服します。

コロナウイルスによる被害者である感染者やその家族、治療にあたってくださっている医療従事者等への誹謗中傷や偏見、差別といった人権問題もおきています。体だけでなく、人々の心まで蝕んでしまう本当に恐ろしいウイルスです。

コロナ禍であっても「みんなちがって みんないい」という金子みすゞさんの詩のように、一人一人の違いを認めあい、支えあえる社会であってほしい。そのようなことを感じている今日この頃です。

おかげさま

熱海市立第一小学校 共同学校事務室参事 根本 茂代
(兼 静東教育事務所 学校事務参事)

新型コロナウイルス感染症拡大による休校から1年が経ち、学校においても感染症対策を講じた新しいスタイルの生活が日常のものとなってきました。学校行事も実施可能な内容・方法で行われ、「GIGAスクール」の環境整備も進みました。

時を同じくして事務職員の置かれている状況も大きく変わり、令和2年度に「職の見直し」がなされ、新たな職としての共同学校事務室参事を拝命いたしました。共同学校事務室参事の職務については、「教育事務所の学校事務参事を兼務し、教育事務所と市町立学校との連絡調整及び市町立学校における業務円滑化の推進を行う。」と通知されています。



これは、学校教育法の改正により事務職員の職務が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に変わったことも含め、地教行法の改正で「共同学校事務室」の設置が制度化され、令和2年度から県内全ての市町に「共同学校事務室」が設置されたことによるものとされています。

ただ、その背景には長年に渡っての県事務職員会（事務研究会・主幹会）の活動があつてのものと理解しています。私自身は、事務研究会の活動を通して多くの方と関わりを持たせていただき、多くの先輩から教えを受けてきたことや背中を押していただいたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。今は後輩にそれを伝えていく立場にあると思っています。

参事職として、静東では統括室長を中心に各共同学校事務室の情報・課題共有から各室の質の向上を目指しての取組や事務職員の研修に関わる取組を行っています。また、学校事務参事を兼ねる立場として地域学校総括監会議・地区校長代表者会等に出席したり、共同学校事務室訪問や学校事務指導訪問に同行して各室の状況把握や室長との協議で課題解決への支援に努めています。



昨年10月に県教委が「事務職員キャリアプラン」を策定しました。今年度は小中学校事務職員の研修の見直しについて、検討を進めることとなっています。

事務職員にとっては大きな変革の時ですが、本当に大切なものは何かを見極めながら務めてまいりたいと思っています。常に「おかげさまで」という気持ちを持って。

ボランティアの独り言

元静岡県公立小中学校事務研研究会西部地区長 知久 吉郎

OB 会員の皆様在职中は何かとお世話になりありがとうございました。

定年退職後、再任用を 3 年ほど経験し都合 40 年間の学校事務職員生活でした。その間多くの先輩や同僚、上司の皆様にご指導をしていただきました。



今や高齢者として毎日が日曜日の連続の生活をしているわけですが、時として地域のボランティア活動の一部として神社の責任役員。寺院の世話人。森林組合の理事等々。未熟な私はその重要な中身をきちんと理解することなく参加しております。

さて、これからは、独り言が大半の内容です。どうぞご容赦願いたいと思います。しかも神社で体験した内容のお話になります。

ところで、私が関係する神社には元禄 14 年（1701 年）に奉納された大釜があります。

実はこの釜は現役で毎年 11 月の霜月祭には主役として祭祀の重要な役割を現在も果たしていますし、お宮では年間を通じて最重要な祭事として取り扱いされています。

シャンシャコシャン シャンシャコシャン キヨモトテーエ と唱えながら 大釜で沸騰させた

御湯を 湯桶にいれて 諸悪のお祓いを齋行しております。勿論、感染が拡大され不安視されているコロナウイルスも例外ではありません。

『湯立て神事』は 奥三河の『花まつり』 飯田市の『遠山の霜月祭』などが有りますが（三河、飯田の行事も同様に国指定の文化財）点と点で結ばれているような気が致します。

少なくとも、釜の奉納年からみても 300 年余の間は私たちの地域では産土様の重要なおこないとして、また伝統行事として氏子さんの熱い庇護のもと大切に親しまれております。

しかしながら、昨今の過疎化・高齢化の波は、私の地域も例外ではありません。特別な解決方法がある

わけはなく、細々と縮小を重ねながら後世につなげていくしか方策はないと思います。

駄文をつづりました。ボランティアも好奇心と興味を抱き合わせると、意外性のあるものに出会う事も可能かなと思う次第です。



令和3年度を迎えて

昭和(63年)、平成(31年)、そして令和と時代は、変わりましたが、激しくなる自然災害や新たな感染症(コロナ感染症ウイルス)の影響で、新しい生活スタイルへの適応能力が試されています。新しい年度を迎えて、災害などへの備えを今一度見直してみましょう。停電になると困ってしまいますが、現在利用している電気は、今から143年前に登場し、それ以前は、火の生活でした。電気のない生活の方が長いことを考えると、昔の人たちの生活に思いを馳せ、知恵を借りたらどうでしょうか。また、感染症の歴史を勉強すると今を生きる知恵が見つかるかもしれません。

さて、皆様からの近況報告ですが、今回は、中部の方の近況報告です。一人でも多くの方の近況報告が聞けることを楽しみにしています。

いまだ、手元に近況報告の葉書がある方は、遠慮なく投函してください。掲載は、次回になりますが、よろしくお祈りします。

諸会合の中止について

連絡会等の諸会合を当分の間(コロナ感染症が落ち着くまで)中止とし、郵便、電話やファックス等でやりくりしたり、静岡近辺の方の協力を仰いで会の運営を進めていきます。ご了承ください。

書き損じ葉書寄付のお願い

皆様のお手元に書き損じた葉書がありましたら、郵送料の足しにできますので御手数ですが連絡先までお送りください。

令和3年度の会費納入について

本年度、会員数100名を目標にしています。一人でも多くの方に入会していただき、目標をクリアしたいと思えます。会費は、同封の払込書で納入していただくか現金を事務局に届けてくださってもかまいません。

編 集 後 記

会報第21号が多くの方々のご協力で発行することができました。年度初めのお忙しい中、原稿を寄せていただきました、小塚様、根本様、知久様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

皆様の原稿から、コロナ禍における個性を認め合える度量の広い社会、人としての心の持ち方など、社会や個人にその対応能力が試されていることを感じました。「おかげさま」の心や「興味関心・ボランティア」も私たちの心の持ち方に一石を投じてくれました。

今後とも、皆様と唯一つながっているこの会報をもっと身近にそして読み応えのあるものにしていきたいと考えています。皆様の御意見や御要望を遠慮なくお寄せ下さい。そして皆様からの自由な投稿をお待ちしています。

また、この会への加入や会の運営など皆様の御支援御協力をよろしくお祈りいたします。会報の感想や皆様の身近な話題等を掲載していきたいと思えますので、下記連絡先に原稿を寄せていただければ幸いです。

<連絡先> 静岡県教育会館内 県退職小中学校事務職員会事務局 岡田寿彦
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-12 電話 054-252-1011